

第2回徳島市新ホール建設候補地検討会議 意見概要

1 日時 平成29年4月17日（月） 午前9時30分～午前11時20分

2 意見の概要

項目	意見等
施設条件について	市民に利用されない施設では意味がない。利用者の視点を第一に、どのようなホールが欲しいかを考えるべき。
	充実したホールを造るなら、面積の点から考えると旧動物園跡地だが、郊外へ人の流れを作ってしまうことにならないかが心配である。
	ホールの機能として真に期待されているのは、公共施設としての機能である。文化施策はとても重要で、ホールのみを考えるのではなく、あらゆる人が集まれる空間として活用する場を作り、文化発信の拠点とすることが大事である。
	文化センター跡地で、まず大ホールを造り、その周辺一体を文化ゾーンとして県と市が協調して段階的に小ホール等を整備していくのはどうか。
	文化センターと徳島駅西側は線路に近く、鉄道高架との関係が深い、旧動物園跡地は広いが進入路が狭い、と一長一短である。
土地条件について	旧動物園跡地は公園を含めたひとつの街と考えれば面白いが、大きな道路がない、住宅地の中にあるなどの制約がある。ホール・駐車場を整備し、音楽芸術エリアを造ったとして、使用頻度やその後の可能性が気になる。
	旧動物園跡地の規制緩和は、現実には周囲に影響を受ける方がいるという状況から考えると、反対意見が出た場合に大変難しい。 文化センターの北側都市計画道路や徳島駅西側の日影規制は、公的機関との調整なので、影響のない形でデザインできれば合意は早いのではないかと。

<p>周辺条件について</p>	<p>公演後に、同伴者と食事や喫茶に行くことも楽しみのひとつであり、それらの施設に近い場所にホールがあるのが良い。</p>
<p>交通条件について</p>	<p>徳島駅西側については、周辺を一体的に整備するのであれば賛成だが、現在の候補地のところだけでは活性化しないのではないかと。</p>
<p>その他</p>	<p>何を優先順位の上位に持ってくるか。将来にどう結び付けていくのか。市民としてわくわくする計画としては、徳島駅西側が面白いが、JR四国とどれだけ協議ができるかにかかっている。</p> <p>この検討会議の場を通じて、市民の方々に検討状況を知ってもらい、市でどのような決断がされていくのかが分かるようにしていくことが重要である。</p> <p>新聞の投稿記事に、関係者がもっと連携しないとホールはできないという意見が掲載されていた。行政は、建物を造って終わりではなく、いかに上手く使うかを考えていくべき。</p> <p>メリットとデメリットをできるだけオープンにし、市民に理解してもらうことが重要である。</p>